

学校運営協議会 議事録

校名	府立桃谷高等学校
校長名	伊藤 範子

開催日時	令和6年11月28日(木) 14:00 ~ 15:30
開催場所	大阪府立桃谷高等学校 新南館 多目的教室 I
出席者(委員)	梅田和子会長、長畑委員、後谷委員、高河原委員 (欠席)
出席者(学校)	伊藤校長、福島准校長、岡本事務部長、橋岡課長補佐、 平野教頭(通信制)、北田教頭(通信制)、吉田教頭(定時制)、 通信制教員、定時制教員
傍聴者	なし
協議資料	学校経営計画重点目標の進捗状況、令和7年度教科書選定について
備考	

議題等(次第順)

1. 開会 2. 校長挨拶 3. 委嘱状手交 3. 説明・協議①通信制 ②定時制
4. 准校長謝辞 5. 閉会(終了後、校内見学)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

令和6年度学校経営計画における重点目標、進捗状況について
(通信制の課程) 教務部、生徒保健部、進路部、図書総務部、学校説明会、指導教諭、人権教育推進委員会
○就職対策の面談の内容、就職講座について
➡就職対策の面談はキャリア教育コーディネーターと生徒で行っており、面接指導では、就職試験の面接や履歴書の書き方の指導等も行っている。就職講座は求職票の見方や就職ガイドブックを用いて履歴書の書き方や自己理解など、就職試験の前に準備が必要なことに話をしていく。
○教育センターと連携した観点別評価の研修について、レポートの評価について
➡観点別評価については、知識・技能や思考・判断・表現についてはレポートやテストで評価できるが、「主体的に学ぶ態度」についての評価は難しい。スクーリングに必要出席回数より多く出席する、レポートを早く提出することだけでは評価はできない。そこにフォーカスを当て、教育センターと連携した研修を行うことで、教科間での意見交換が改めでき、指導主事からの助言等を受けることができた。
○退学する生徒はどのような理由で退学しているのか。進学している生徒も増えてきているが。
➡退学する理由は、私学の通信制に転学や病気が原因で学習が続けられなくなる、仕事が多忙になり学校に登校する時間がないことなどがあげられる。その中でも本校に入学し、学んでいく中で希望を見出す生徒もいる。就職だけでなく、進学する生徒も増えてきており、学んでいく中で新たな希望を見出していくことができるのが高校のある姿だと考えているので、セーフティネットの学校として、生徒が新しい希望を見出せるようにしていきたいと考えている。
○公開スクーリング、研究スクーリング、校内初任者研修について
➡初任の先生だけではなく、異動でこられた先生方にも通信制のことについて学んでもらいたいと考え、このような取り組みを始めた。通っている生徒も多様なため、教員に対して校内初任研や若桃塾などの取り組みもやっている。研修等を通して若い教員を含め教員の垣根を越えて楽しみながら学びを深めている。
(定時制の課程) 桃定プロジェクト、教務部、生徒保健部、進路部
○桃定プロジェクトについて
➡教員からのボトムアップ、管理職からのトップダウンの中間地点にあるPTなので、様々な課題を話し合いながら解決していきたい。
○オンライン授業について
➡実施できる体制は整っており、オンラインで双方向のやり取りできる状況はできているが、希望する生徒が少ない状況。
○生徒に身につけてほしい力について
➡教員の授業研修から現在六つにまとめて整理をしている状況。それをまとめて外部向けに発信していけるよう考えているところである。

令和7年度選定教科書について、承認されたので、書面で各委員に確認していただいた。

次回の会議日程

日時	令和7年1月30日(木) 14:00~
会場	大阪府立桃谷高等学校 新南館